

単元名 【旧】くしゃくしゃ ゑゅっ(立体)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 膨らませ方を考え、紙を中に入れる具合や、袋のしぼる位置やしぼり方を工夫することができる。  
(2) 紙に働きかけることで生まれる形から、自分の好きな「友達」を見つけることができる。  
で  
きた作品を友達と紹介し合ったり、交換して抱き合ったりして、楽しさを感じ取ることができる  
(3) くしゃくしゃにした紙の感じや変化や、その紙を基に「友達」をつくることを楽しもうとする

### 標準的な展開例

02080109\_001

【準備等】紙袋、ポリ袋、新聞紙、広告紙、カラーペン、ひも、モール、ビニルテープ、色付き輪ゴム、毛糸、リボン、身近材（目などにするボタンなど）、色紙、セロハンテープ、化学接着剤、はさみ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 袋を使って、つくりたいものを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体全体で材料の感触を楽しみ、その特徴から、変形する方法を見つけて発表させる。（言語活動） <ul style="list-style-type: none"> <li>・しわしわにする方法</li> <li>・中に何か詰めて膨らませる方法</li> <li>・しぼる方法</li> <li>・丸める方法</li> <li>・ねじる方法</li> </ul> </li> </ul> <p>★袋を膨らませて形を変えて、楽しい「友達」をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つくりたいものを考える。</li> </ul> <p>2, 3 袋の中につめるつくり方を楽しみ、自分なりに楽しいことを思い付きながら工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○袋の中にいらなくなった紙などを入れて詰め込み、ちょうどいい量にする。</li> </ul> <p>○袋のいろいろなところを縛ったりねじったりして、「友達」のイメージを膨らませる。</p> <p>○つくりたい「友達」になるように、顔などをかく。</p> <p>○どんな「友達」をつくったのか、紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 1. 2下 P.20, 21</li> <li>・材料の感触を思う存分味わわせる。</li> <li>・児童の発言から、いろいろな形を変える工夫があることに気付かせる。</li> <li>・袋を使ってつくることや袋の中身、しぼるための材料、しぼり方などについてイメージをもたせる。</li> </ul> <p>・さらに材料に触れながら、つくりたいものを考えさせる。</p> <p>【評】作品を通して、自分なりの好きな「友達」の形を見つける「発想や構想の能力」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詰める紙は、教室の複数の場所に設けて、待ち時間を短くする。</li> <li>・膨らませた感じのよさを味わうことからつくるものへのイメージを広げさせる。</li> <li>・ふんわりした、ほどよい量を袋につめるようにする。</li> <li>・しぼる部分の分量の違いで、顔や体などの大きさが決まり、全体の感じが変わること気付かせる。</li> <li>・つくりたい様子に合わせて、ペンや他の材料を使って絵をかき足したり、飾りを工夫したりして、思いを広げさせる。</li> </ul> <p>【評】作品を通して、イメージした形になるように、袋をしぼる位置やしぼり方を工夫する「創造的な技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できたものを抱っこしたり触ったりして、その感触を楽しませる。</li> <li>・作品に名前を付け、愛着をもたせる。</li> <li>・工夫したところを見付けさせる。</li> </ul>

【 備 考 】